



# SSHレターズ

長崎県立大村高等学校  
最先端の学びを日本の西端から創造する。  
学びの“SHINKA”がここから始まる。

2巻/8号 2023/12/18

## 令和5年度 長崎県高等学校総合文化祭 第29回 科学研究発表大会 優秀賞 受賞！

11月3日（金）長崎県平戸市の平戸文化センターを会場に、標記発表大会が行われました。理科部から3つの班が口頭発表の部で参加しました。以下、受賞結果です。

- 口頭発表の部 生物部門 **優良賞**  
「酵母がもつ抗カビ物質について探る」福本美優
- 口頭発表の部 生物部門 **優良賞**  
「大村市街地水路の秘密にせまる！～コアママとタケノコカワナについて～」 森口力、桃田晴輝
- 口頭発表の部 化学部門 **優良賞**  
「究極のカルメ焼きを求めて」 吉井逢陽
- 展示発表の部 物理部門 **優秀賞 → 九州大会へ**  
「ネームペンと小巻テープによる反復上昇運動の解明」 田川響悟

今回の受賞は、日々のひたむきな努力を積み重ねた成果です。おめでとうございます！なお、展示発表の部の田川君は、12月に開催される 令和5年度 九州高等学校生徒理科研究発表大会 大分大会 にも代表権を得て出場します。



## ◆SS探究IIC 住居セミナー

日時：令和5年11月17日（金） 5・6校時  
対象：2年生家政科  
講師：九州産業大学 建築都市工学部 居住・インテリア学科 吉村祐樹 先生

内容は、講義形式で、色の3属性（①色相 ②明度 ③彩度）や色の組み合わせ（配色）などについて学びました。実際にパソコン上でのシミュレーションで家の中の配色を変えるなどして確認しました。

後半は、実際に配色カード用いて、配色の組み合わせを選ぶ練習を行いました。実際に、配色カードをはさみで切り、のりでプリントに張っていく作業を行いました。同じお題でも、1人ひとり、選んだ配色が異なり、それぞれの個性が出ていました。



SSH活動の詳細は、下記URL

または2次元コードから

→ [http://www.news.ed.jp/](http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html)

[omura-h/ssh/SSH.html](http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html)



## ◆SS探究IIA 科学英語プレゼン研修

日時：令和5年11月15日（水） 3・4校時

対象：2年生数理探究科

目的：英語での課題探究ポスター発表を通じて、困難さや楽しさを体験するとともに、英語でのプレゼンテーション能力の向上と充実を図る。

10月中旬からの1か月、英語科の先生方、ALTの先生のご指導のもとで、生徒はそれぞれが「自身の研究」と「英語」と向き合って充実した準備ができ、本番に臨むことができました。

数学・物理・生物・化学・地学の分野で、計9つの研究班が、英語ポスターを作成し、英語でプレゼンテーションを行いました。

長崎県立大学 大隈重之先生、県内各地からALTの先生方 計5名に、英語プレゼンを参観していただき、プレゼンテーション時に気がけるべきこと、英語の表記や発音、などのアドバイスを各班にいただきました。



## ◆文理探究科連絡協議会

### 東京学芸大学探究プロジェクトとの連携における授業研究会 第2弾 英語

授業者：大村高等学校 教諭 松本 朱美  
教科・科目：学校設定科目「OMURA STEAM LABO」  
における英語分野

授業対象者：文理探究科 1年1組・2組

単元：「Lesson11 “That's new to me!”

令和5年11月16日（木）に、昨年度から長崎県文理探究科連絡協議会と東京学芸大学とで実施している連携事業「東京学芸大学高校探究プロジェクト」において、2回目の研究会を開催しました。11月2日（木）の公共の授業に続き、今回は、英語を実施しました。

当日は、東京学芸大学の藤村祐子先生、国際基督教大学の小松万姫先生を始め、県内の高校から9名の先生方に参加をしていただき、午後の研究協議も活発な意見交換が行われました。

